

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25201
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学（文学部）	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	「高校生のための書道講座」		
	学問分野	番 号	15 名 称 芸術（書道）
3. 担当教員	増田知之・谷口邦彦・高橋佑太（文学部書道学科）		
4. 開講期間（曜日） 開講時間	平成 29 年 8 月 2 日（水） 10 時 00 分～15 時 40 分（90 分×3 回）		
個別開講日	1 回目 8/2	2 回目 8/2	3 回目 8/2
5. 募集定員	40 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>書の基本的な古典にみられる様々な特徴を講師独自の切り口によって取り上げます。各古典の臨書を通して一緒に追究してみましょう。</p> <p>1. 10:00～11:30 「九成宮醴泉銘のふしぎ」（講師：谷口 邦彦） 初心者が書を学ぶ態度として重んじるのは「形臨」です。一方でお手本とする古典には先人達の知恵が詰まっています。九成宮醴泉銘の結構（字形）に潜む、筆者の意図を読み解く楽しみを体験してみましょう。</p> <p>2. 12:30～14:00 「王羲之はなぜ学ばれるのか？ —王羲之尊崇の歴史と「蘭亭序」」（講師：増田 知之） 悠久の中国書道史の中で、王羲之はその第一人者として長く尊重されてきました。しかし、王羲之の真跡は一点として現存しておらず、代表作である「蘭亭序」もまた例外ではありません。本講座では、王羲之が現在でもなお学ばれている理由を歴史的な文脈から考えるとともに、「蘭亭序」を取り上げてその筆法にも迫ってみたいと思います。</p> <p>3. 14:10～15:40 「高野切復元から得たもの」（講師：高橋佑太） 「寄合書」で知られる高野切は、3 人の名手の手になる仮名の名品です。講師はかつて高野切による古今和歌集 20 巻の復元作業に携わった経験があります。作業から得た名手たちの工夫を臨書しながら紹介します。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり・ ない	① 最少開講人数（ 人）定員超過の不許可は選考により決定		
	② 不許可・不開講通知日 (7月15日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月16日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 男子も参加可能		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。